



イワクラの起源

古代、神は全ての植物や動物、山や川、あるいは岩石などあらゆる自然の事物に宿るというアニミズム信仰だった。その中でも、特に美しい円錐型をした山は神そのものとして敬われてきた。また、山中にある巨石は、古代の人にとって畏敬の念を抱かせたことだろう。自然と、これらの巨石は神々が降臨してくる場所として敬われ尊ばれた。時代が進むにつれ、太陽の復活と再生を願う祈りの場や自分たちの子孫の繁栄や生活の節目を区切るための祈りなど、様々な祈りの場が必要となってきた。そのための祈りの場を信仰の中心である「神体山」の中やその周辺、あるいは自分たちの集落の近くに自然の岩を組み上げ、神様の降臨する場所を人工的に造るようになった。これが「イワクラ」と呼ばれるものである。

イワクラの役割として大きく4つの役割が考えられる

- ① 祈りの場 (精神的やすらぎ・子孫繁栄など)
 - ② 曆としての役割 (夏至や冬至、春分や秋分など)
 - ③ 標識としての役割 (ランドマーク)
 - ④ モニュメントとしての役割 (何らかの意味を後世に伝えようとしている?)

夢とロマンの里 古代文明夢探しの旅。

アクセスのご案内



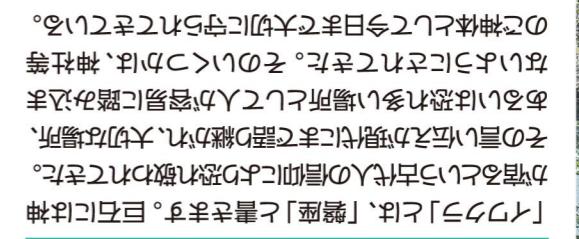
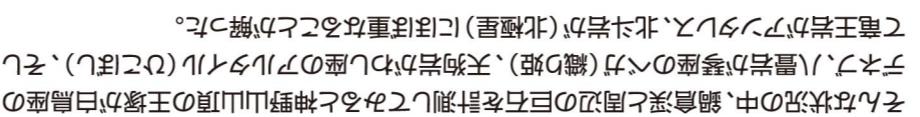
●自家用車でお越しの場合

大阪方面から…阪神高速・近畿自動車道>>西名阪自動車道>>名阪国道「山添IC」(大阪市内から約60分)
名古屋方面から…東名阪自動車道>>名阪国道「山添IC」(名古屋市内より約90分)
京都方面から…京奈和自動車道>>国道24号線>>県道80号線(京都市内より約120分)

企画・編集：川添村／日々文化研究会

山添村観光協会 TEL.0743-85-0081

〒630-2344 奈良県山辺郡山添村大字大西151（毎週水・木曜日定休日）
【HP】<http://www.yamazoekanko.jp> 【E-mail】info@yamazoekanko.jp 山添村観光 検索



የፌዴራል በርሃን የሚከተሉት ስልጣን



山溪村の歷史古文書、今約5万枚15,000年前に於ける
力の誤り。その時代の「韓文文化」は、土器や骨器
などから見て、力強さが見えてくる。古代の骨器は文明的
な文化をもつてゐる。骨器の開拓者たる山溪村の歴史古文書
は、その骨器の開拓者たる山溪村の歴史古文書である。
山溪村の歴史古文書は、その骨器の開拓者たる山溪村の歴史古文書
は、その骨器の開拓者たる山溪村の歴史古文書である。
山溪村の歴史古文書は、その骨器の開拓者たる山溪村の歴史古文書
は、その骨器の開拓者たる山溪村の歴史古文書である。

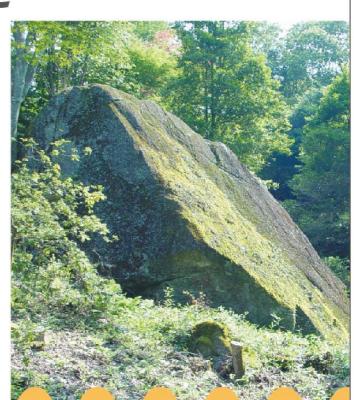
ବିଭିନ୍ନକୀ

~한국문화체험...여행~



1万歩MAP

A large, mossy rock formation with a yellow decorative border at the bottom.



古代の人々は光輝く太陽や、夜空の天の川や星をながめ、何を祈つたのだらう?

山添村イワケラMAP

⑧牛ヶ峯樹型岩 山添村大字北野
北野牛ヶ峯の地には巨岩大石が累積しておりその中でも巨大な岩。高さが16mあり樹の形が切り込まれている。
(岩屋岩とともに昭和41年9月20日村名勝指定)



⑨牛ヶ峯岩屋岩
大きな岩の基礎となるような小さな岩が意図的に置かれているように思われる。表面には丈六尺の大日如来像が刻まれている。



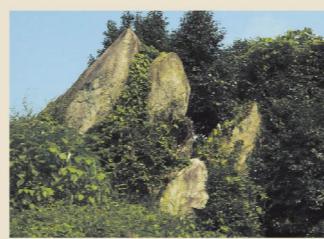
神の宿る山「神野山」



⑩塙瀬地蔵 山添村大字大塙
現在は石仏として祭られているがその形態は主石を取り囲むように小ぶりの石が配されており古代の祭祀場と考えられている。



⑪大師の硯石 山添村大字大塙
主石の頂部に三角形の窪みがあり常に水をたたえていることから、雨乞いの石としてあがめている場合が多い。



⑦天王の森 山添村大字峰寺
山頂に巨石群がありその周りに小さな石が配されている。



⑯遅瀬鏡石 山添村大字遅瀬
上部の岩が鏡石で、光を反射して目印にされていたと考えられる。



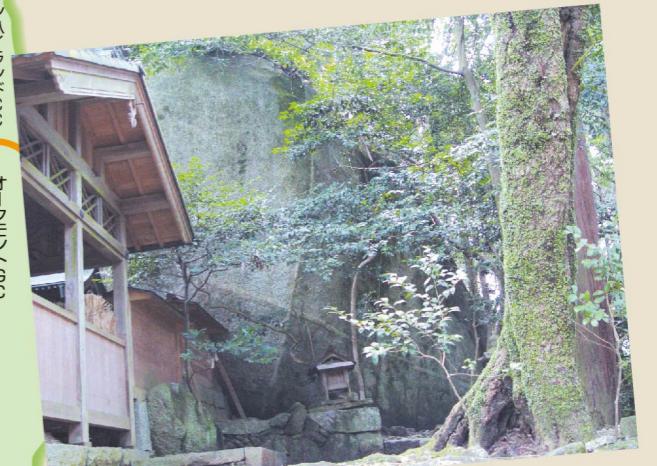
⑯長寿岩 山添村大字西
直徑7mのみごとな球体、推定重量約600t。注目すべき点、それは赤道、子午線とおぼしき謎の「十字ベルト」がある。



⑮遅瀬亀石 山添村大字遅瀬
横から見ると亀を表しているように見えるが、正面から見ると女陰にも見える。



⑭舟岩 山添村大字中峰山
舟岩は中峰山の小字オクヤデの山中にあり舟の大きさは、長さ10m、幅6m、高さ3mその周りに数多くの岩が配されている。



⑮岩尾神社の神体石 山添村大字吉田
巨石が数多く、村の指定文化財になっており、十字紋のある巨石や鏡岩がある。